

民鉄協ニュース 27-No. 5

平成27年5月29日

(一社)日本民営鉄道協会 第99回定時総会を開催

(一社)日本民営鉄道協会(東京都千代田区)は、本日5月29日(金)に、「第99回定時総会(東京都千代田区 経団連会館)」を開催し、次の議案を原案どおり承認しました。

〔議案〕

1. 平成26年度事業報告および収支決算の承認について
2. 総会決議について
3. 平成27年度会費負担額について
4. 役員を選任について
5. その他

承認された議案のうち、役員を選任については、会長に根津嘉澄東武鉄道社長(新任)、副会長に山木利満小田急電鉄社長(新任)、山本亜土名古屋鉄道社長(再任)、加藤好文京阪電気鉄道社長(新任)、大谷隆男秩父鉄道社長(再任)、杉山健博神戸電鉄社長(新任)、佐伯要伊予鉄道社長(再任)を選任しました。

坂井信也阪神電気鉄道会長は、協会会長を退任しました。

常勤役員は、杉山篤史理事長(再任)、井上順一常務理事(再任)、北野忠美常務理事(再任)、室谷正裕常務理事(再任)を選任しました。

また、井上順一常務理事は平成27年7月31日付けで退任し、後任には平成27年8月1日付けで藤井角也が就任する予定となっています。

なお、総会決議文と役員名簿は別紙のとおりです。

以上

本日、この資料は下記の記者クラブにお届けしています。

○国土交通記者会 ○ときわクラブ ○東海交通研究会 ○青灯クラブ ○近畿電鉄記者クラブ ○福岡経済記者クラブ

総 会 決 議

私ども民営鉄道は、通勤、通学を始めとして1日3千万人近い利用者を輸送する国民生活に不可欠な基幹的公共交通機関であるとともに、我が国の経済社会を支える基礎的な社会・公共インフラであります。

このため、首都直下地震・南海トラフ地震や多発する大規模自然災害等に備え、引き続き、鉄道事業の大前提である鉄道施設の防災・減災対策を始めとする安全・安心対策を最優先に取り組むとともに、安定的で快適性・利便性の高い輸送サービスの提供に努めていきたいと考えております。また、観光振興や2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催への対応のため利用環境の向上・外国人受け入れ体制の整備をより一層推進するとともに、地球環境問題やエネルギー制約への対応のため省エネ化・低炭素化への取り組みを推進し、環境に優しい鉄道のさらなる利用促進を図りたいと考えております。

一方、民営鉄道の経営環境は、今後とも、少子・高齢化の急速な進展や安全・安心・サービス向上のための収益に直結しない継続的な投資等により、厳しい状況が見込まれるところです。特に、地方民鉄は地域の社会インフラとして、住民の方々の方々の生活の足を担っているものの、その多くは懸命な経営努力にもかかわらず、極めて厳しい経営状況にあります。

このような状況の下、民営鉄道が国民生活や経済社会を支える基幹的な公共交通機関として、また、環境に優しい交通機関として、今後ともその役割を果たすためには、私ども民営鉄道事業者の経営努力はもとよりですが、これにあわせて様々な面での政策的支援が必要不可欠であります。

国および地方公共団体におかれましては、このような民営鉄道の実状をご理解いただき、下記事項に特段のご配慮を賜りますようお願い致します。

記

1. 国及び地方公共団体に対するお願い

(1) 安全・安心対策、利便性・快適性など輸送サービスの向上対策、省力化・低炭素化対策、地方民営鉄道の再生・活性化対策等に係る公的支援の拡充・強化

(2) 観光振興及び2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催に向けた総合的支援

2. 国に対するお願い

民営鉄道の安全で安定的な運行に支障が生じることがないように、安定的かつ低廉な電力供給の確保

平成27年5月29日（金）

一般社団法人 日本民営鉄道協会

一般社団法人 日本民営鉄道協会 役員名簿

(平成27年5月29日現在)

会 長	根 山	津 木	嘉 利	澄 満	東 武 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	(総 務 委 員 長)
副 会 長	山 山	本 藤	亜 好	土 文	小 名 古 屋 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	加 大	谷 山	隆 健	男 博	京 阪 電 気 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	杉 佐	伯 山	健 篤	要 史	秩 父 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	杉 室	井 上	順 忠	一 美	伊 予 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	(地 方 交 通 委 員 長)
理 事 長	杉 室	井 上	順 忠	一 美			
常 務 理 事	〃	北 藤	井 林	久 生	(平成27年7月31日付けで退任予定)		
〃	〃	若 三	枝 紀	正 文	(平成27年8月1日付けで就任予定)		
理 事	〃	永 野	本 弘	文 之	西 武 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	原 田	一 義	光 男	京 成 電 鉄 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	奥 小	澤 重	道 宜	京 王 電 鉄 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	和 田	林 道	信 二	東 京 急 行 電 鉄 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	亘 中	川 喜	博 起	東 京 地 下 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	藤 原	富 純	男 悦	相 模 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	倉 澤	田 長	二 郎	近 畿 日 本 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	笠 堀	井 内	光 一	南 海 電 気 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	笠 桑	原 名	博 彦	阪 急 電 鉄 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	加 村	藤 敏	夫 一	阪 神 電 気 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	豊 西	田 門	一 寛	西 日 本 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	上 小	嶋 光	信 夫	津 軽 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	椋 大	田 昌	厚 正	新 京 成 電 鉄 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	真 鍋	田 康	士 高	富 士 急 行 電 鉄 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	本 中	島 敬	克 彦	長 野 電 鉄 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	宮 平	田 憲	一 郎	富 山 地 方 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	荒 井	井 條	一 弘	北 陸 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	下 能	上 尚	久 敦	福 井 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	え ち げ ん 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	京 福 電 気 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	山 陽 電 気 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	岡 山 電 気 軌 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	広 島 電 鉄 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	一 畑 電 車 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	高 松 琴 平 電 気 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	島 原 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	熊 本 電 気 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	西 日 本 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	(労 務 委 員 長)
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	京 成 電 鉄 (株)	取 締 役 社 長	(運 輸 委 員 長)
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	小 田 急 電 鉄 (株)	取 締 役 社 長	(財 務 委 員 長)
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	京 阪 電 気 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	(技 術 委 員 長)
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	阪 急 電 鉄 (株)	取 締 役 社 長	(広 報 委 員 長)
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	東 武 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	武 州 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	三 岐 鉄 道 (株)	取 締 役 社 長	
〃	〃	能 上	尚 久	敦 三	(株)日本政策投資銀行	都 市 開 発 部	

以 上